



代表の吉田氏

経営概要

- ◆代表者、所在地
吉田和仁、秋田県男鹿市
- ◆設立年
令和5年1月
- ◆経営規模
水稻 21.0ha、葉たばこ1.2ha、大豆4.0ha、大豆作業受託6.0ha（播種、中耕培土）
- ◆従業員数
正社員1名、パート・アルバイト2名
- ◆事業内容
農産物の生産だけでなく、スマート農業機械の保守点検など幅広い事業展開に取り組む。

1 現状及び相談内容

東京都でIT関連企業に勤務していたが、平成30年に帰郷し、令和2年に経営移譲を受けた。

吉田氏は、今後、ほ場整備を予定していることから、前職の経験をいかし、関連機械・機器の保守点検等を担うとともに、**経営を法人化して経営基盤の強化**を図り、5年後には40ha程度まで**規模拡大や地域におけるスマート農業のモデル化**を図りたいと令和4年5月に相談があった。

2 支援内容

法人設立に向けた**営農計画の策定支援**を実施した。
税理士による**経営診断や税務相談**を行うとともに、社会保険労務士による**就業規則の策定、労務環境の改善などに関する助言**を行った。

3 人材の確保・育成に資する取組

★就業規則を整備するとともに、IT技術を活用して業務の効率化を図ることで、週休2日を実現するなど働きやすい職場環境の実現と能力に応じた賃金体系を構築

■働きやすい職場の実現

就業規則だけでなく、給与規定、育児・介護休暇等に関する規則も策定し、性別に関係なく働きやすい職場作りを目指している。今後、従業員休憩所にシャワールームやキッチン等の整備を行い、**就業環境の充実**を進める。

■生産性向上と固定休日の確保

ほ場水管理システムなどの**スマート農業機械の導入を積極的に検討し、生産性の向上を図るとともに、4週4休で休日を設定し、年間所定休日を120日として平均週休2日以上**の休日環境を整備した。

■キャリアパスの策定と賃金体系整備

雇用者のキャリアパスとして、管理職（本部長、部長、次長、課長）と専門職（チーフスペシャリスト、スペシャリスト）の役職を設け、その階級に応じた役職手当を設定し、能力に応じた賃金体系を構築した。



社会保険労務士による就業環境改善支援

今後の意気込み

土地利用型として水稻＋大麦＋大豆の作付け体系と、「機械化と貯蔵」をキーワードとした高収益作物の導入を予定している。あわせて、近隣畜産農家との連携による循環型農業やJGAPによる生産工程管理を進め、環境に優しい農業を実践していきたい。

専属スタッフ所感

当該企業代表が、支援を受けながら就業規則等を作り上げ、「働きやすい職場」に大きく近づいた。今後は、将来にわたる人材確保・定着につなげて欲しい。